

介護福祉実習 実習指導計画（区分Ⅱ） 特別養護老人ホーム

※ このプログラムは基本形であり、養成校や実習生の希望、実習目標に応じて柔軟に変更可能です。

社会福祉法人 山輝会

	月日	実習内容	担当	意図(目的)	姿勢・知識・技術
介護実習	初日	①オリエンテーション ②館内案内(他部署挨拶) ③利用者への挨拶(コミュニケーション)	実習指導者	①実習中のルールを理解する。 ②～③ 実習事業所の構造を知り、関係者へ挨拶する。	・一般常識 ・コミュニケーション能力
	2日目	①法人組織、理念についての講義 ②特養・SSサービスについての講義 ③介護福祉士の仕事と役割	実習指導者	①介護保険施設の機能、役割を理解する。 ②実習施設の概要を理解する。	・介護保険施設の基礎知識 ・実習施設の知識
	1～4週目	①介護職員帯同 《実践内容》 ・利用者とのコミュニケーション ・申し送り参加 ・間接援助(リネン交換、掃除、洗濯等) ・食事、入浴、排泄ケア ・更衣、整髪、整容介助 ・口腔ケア、嚥下体操 ・移動、移乗、体位交換 ・服薬介助 ・夜勤業務(希望者のみ) ・外出支援 ・レクリエーション企画、実施 ・行事企画参加 ※1週目は見学中心、2週目以降は職員と一緒に介助を実践する ・カンファレンス参加 ・サービス担当者会議参加 ・認定調査同席 ※実施時に随時、参加、同席する	介護職員	① ・利用者の1日の生活の流れや特性を理解する。 ・生活の場の環境整備の重要性を理解する。 ・障害、疾病に応じた安心・安楽な基本的な生活支援技術を理解し、実践する。 ・自己決定、自立支援を大切にした生活支援を理解し、実践する。 ・介護計画に基づき、個別の根拠に応じた生活支援技術を理解し、実践する。 ・職員間の連携、チームケアを理解する。 ・報連相、情報共有の重要性を理解する。 ・多職種連携、チームケアを知る。 ・介護サービス提供の流れが理解できる。	・コミュニケーション能力 ・問題(課題)意識、積極性 ・観察力、考察力 ・家事援助技術 ・生活支援技術 ・接遇マナー
	2週目～	①介護計画作成対象者を決定 ②介護計画、個別援助計画の講義 ③対象者とのコミュニケーション	実習指導者	①介護過程を展開する対象利用者を決定する。 ②介護計画の意味を理解し、援助者として対象者の生活課題を引出し、解決に向けてのプロセスを自立支援の立場で考える事が出来る。	・介護計画に関する知識 ・コミュニケーション能力 ・観察力
	実習中頃	①利用者体験(希望者) 食事全介助(ミキサー食、ソフト食)、排泄(トイレ誘導、オムツ着用の誘導)、拘束着着用、上肢・下肢の拘束、終日ベッド臥床・終日車椅子座位、不適切ケアの体験など ※ その他、希望に応じて体験メニューは調整可能			・真面目に取り組む姿勢 ・素直さ ・感じたことを自分の言葉として素直に表現する力
介護実習	2週目～3週目	①アセスメントの方法を学ぶ(講義)	実習指導者 ケアマネ		
		①アセスメント ↓ 認定調査項目に沿ったアセスメント	実習指導者 ケアマネ	①利用者の身体状況を知る。 できる(している)、できない(していない)を把握する。	・アセスメントの知識 ・コミュニケーション能力
		↓ 生活援助の視点で再アセスメント	実習指導者 ケアマネ	①介護計画立案のために必要な情報は何かを理解する。 顕在ニーズ、潜在ニーズを理解する。	・アセスメントの知識 ・コミュニケーション能力 ・考察力
		①中間カンファレンス	実習指導者	①前半の振り返りと、目標達成度を確認して後半の取組課題を明らかにする。	・実習目標に対する取組みを適切に自己評価する力

	月日	実習内容	担当	意図(目的)	姿勢・知識・技術
介護実習	2週目～ 3週目	①他職種帯同 看護師、栄養士、相談員、ケアマネ	各専門職	①多職種協働の必要性が理解できる。 専門職毎の仕事内容、役割、責任を知る。	・コミュニケーション能力 ・情報収集力
		①介護計画の原案作成	実習指導者	①収集した情報を分析して、立案する過程を学ぶ。 ニーズの捉え方を理解する。	・文章力、表現力 ・情報整理の能力 ・課題分析能力
		①模擬担当者会議の開催	実習指導者 各専門職	①チームの一員として多職種との連携の必要性が理解できる。 各職種からの情報を引き出す。 自分の思い、考えを人に伝える。 多角的な視点の意味を理解する。	・コミュニケーション能力 (プレゼン能力) ・謙虚さ
	4週目	①介護計画の修正	実習指導者	①他者の意見を取り入れることができる。	・謙虚さ、考察力
		①介護計画の実施	実習指導者	①個別ケアの実践が出来る。 利用者との信頼関係を築き、個別の生活ニーズに応じた介護過程が展開できる。	・行動力、観察力 ・コミュニケーション能力 ・協調性
		①介護計画の評価、再計画	実習指導者	①客観的な視点で適切に評価ができる。 成功・失敗の原因を掘り下げることができる。 原因分析を次の計画に反映させることができる。	・情報整理、分析力 ・考察力
		①実習振り返り ②利用者、職員への挨拶	実習指導者	①実習での学びを自分の口で語る。 事後学習で振り返るべきポイントを整理する。	・自己分析力